

# 第一次世界大戦と民族独立の動き

## ①クリスマスまでには帰れるさ

□ 20世紀、ヨーロッパ諸国は植民地をめぐって①\_\_\_\_\_と②\_\_\_\_\_の2つの陣営に分かれて対立。

三国同盟→オーストリア・③\_\_\_\_\_・④\_\_\_\_\_

三国協商→イギリス・⑤\_\_\_\_\_・⑥\_\_\_\_\_

こうした対立に加え、バルカン半島は紛争が絶えなかったため、『⑦\_\_\_\_\_』と呼ばれていた。

□ バルカン半島で緊張が高まる中、⑧\_\_\_\_\_年6月、オーストリアの皇太子夫妻がサラエボでセルビア人の青年に暗殺されてしまう。（サラエボ事件）

オーストリアはセルビアに宣戦布告し、まもなく各国も参戦。

オーストリア・ドイツ・オスマン帝国（トルコ）を中心とする⑨\_\_\_\_\_側とイギリス・フランス・ロシアを中心とする⑩\_\_\_\_\_側に分かれて第一次世界大戦が始まる。

日本は、この戦争に参戦する理由はなかったが、日英同盟によって連合国側に参戦した。

□ 第一次世界大戦はこれまでの戦争の様子とは大きく違い、⑪\_\_\_\_\_・飛行機・潜水艦・⑫\_\_\_\_\_などの新兵器が使われ、死傷者が増大した。

すぐに終結すると人々が思っていたが予想をこえて長引き、社会全体を戦争協力に巻き込む⑬\_\_\_\_\_の体制が作られた。

## ②成金の出現

□ 1914年、日本は日英同盟を結んでいたイギリスの求めを受けて⑭\_\_\_\_\_に宣戦し、連合国として第一次世界大戦に参戦。

中国の山東半島にあるドイツの軍事拠点、太平洋のドイツ領の南洋諸島を占領。

1915年、日本政府は中国政府に対し、⑮\_\_\_\_\_を提出→大戦により欧米列強のアジアへの関心の弱まりもあり、反発する中国に軍事力を背景に要求の多くを認めさせた。

□ 日本は連合国からの軍需品の注文が増えたため輸出が急増し、重化学工業や繊維業が発展する。

日本経済は好景気となり、貿易は輸出が輸入を大幅に上回った。（大戦景気）

これにより、にわかに大金持ちとなる「成金」が出現し、利益をあげた大企業は⑯\_\_\_\_\_へと成長する。

□ アメリカは第一次世界大戦前には世界一位の⑰\_\_\_\_\_国となる。

第一次世界大戦が始まった当初は中立を守っていたが、しだいに連合国との結びつきを強める。

- ①三国同盟 ②三国協商 ③ドイツ ④イタリア ⑤フランス ⑥ロシア ⑦ヨーロッパの火薬庫  
⑧1914 ⑨同盟 ⑩連合 ⑪戦車 ⑫毒ガス ⑬総力戦 ⑭ドイツ ⑮二十一か条の要求  
⑯財閥 ⑰工業

# 第一次世界大戦と民族独立の動き

## ③パンと平和、民主主義を求めて

- ロシアでは、第一次世界大戦が長引き、生活が苦しくなったため、**民衆の不満が爆発**する。  
1917年3月、女性や労働者が「パン、平和、自由」を求めてストライキや反乱が起こった。  
軍の兵士が加わり、自治組織を結成すると、**皇帝は退位し帝政は倒れる**。  
1917年11月、レーニンらが蜂起し、レーニン指導のもと①\_\_\_\_\_主義を唱える②\_\_\_\_\_を樹立。  
これを③\_\_\_\_\_という。
- ソビエト政府はすべての交戦国に対し、「無併合・無賠償・**民族自決**」の原則で講和をよびかけるが聞き入れられず、不利な条件を受け入れ、単独で④\_\_\_\_\_側と講和を結ぶ。
- 中立を守っていたアメリカは、ドイツの潜水艦による無差別攻撃を受け、1917年、連合国として参戦した。  
⑤\_\_\_\_\_大統領は、ソビエト政府に対抗して「⑥\_\_\_\_\_」を発表し、**議会制民主主義**が戦後の政治の基礎となるべきだと主張した。
- ロシア革命は、戦争に反対する人々に支持されたため、**1918年**、影響がおよぶことをおそれた**連合国側**が共同で軍隊を派遣した。→日本も⑦\_\_\_\_\_によって参加する。  
ソビエト政府は**干渉戦争**を乗り切り、1922年、⑧\_\_\_\_\_を結成した。

## ④不戦の誓い

- 1918年秋、ドイツの降伏により第一次世界大戦は⑨\_\_\_\_\_の勝利で終結した。  
**1919年**、パリで講和会議が開かれ、ウィルソンの平和原則をもとに、連合国とドイツの間で⑩\_\_\_\_\_が結ばれ、ドイツはすべての植民地と領土の一部を失う。
- 講和会議で⑪\_\_\_\_\_の設立が決定し、1920年**42**か国で発足する。  
アメリカは未加盟。敗戦国・ロシアは除外→ヨーロッパの大国を中心に運営。
- 1921～1922年、アメリカの提案で⑫\_\_\_\_\_が開かれる。  
その後も国際連盟の総会が外交の重要な場となる→1928年、**不戦条約**→国際協調の機運が高まる。
- 大戦後各地で議会制民主主義が広がる→共和国となったドイツでは⑬\_\_\_\_\_が制定される。  
→**20歳以上**のすべての男女に選挙権が認められ、労働者の⑭\_\_\_\_\_も保証された。

①社会 ②ソビエト政府 ③ロシア革命 ④同盟国 ⑤ウィルソン ⑥十四か条の平和原則  
⑦シベリア出兵 ⑧ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連） ⑨連合国 ⑩ベルサイユ条約 ⑪国際連盟  
⑫ワシントン会議 ⑬ワイマール憲法 ⑭団結権

## 第一次世界大戦と民族独立の動き

### ⑤わきあがる独立の声

□ **朝鮮**では、第一次世界大戦が終わると独立への希望が高まっていく。

1919年、京城で朝鮮の独立が宣言され、「独立万歳」と叫び独立を求める運動が全土に広がっていった。これを①\_\_\_\_\_という。

□ **中国**では、パリ講和会議により山東省でのドイツの権益が返還されると期待されていたが日本が受け継ぎ、反日運動が起こる。

さらに帝国主義に反対する運動（②\_\_\_\_\_）へと発展した。

③\_\_\_\_\_が中国国民党をつくり国民改革を進めていたが、孫文の死後④\_\_\_\_\_が中国国民党の実権を握る。

□ **インド**では、第一次世界大戦に協力すれば自治を見つめるという約束をイギリスが守らなかったため、⑤\_\_\_\_\_らが、「**非暴力・不服従**」の運動を展開していった

①三・一運動 ②五・四運動 ③孫文 ④蒋介石 ⑤ガンディー